令和　3　年度事業評価シート

No.1

PLAN(計画)　　自己評価

事務事業番号	9

担当課	健康課	担当課長	大嶋　昌広
事業担当者	山下　友紀子	一次評価者	持松　可奈子
事業区分	継続事業	事務事業評価の履歴	有
事務事業名	健康増進事業		
予算科目	4 款 1 項 4 目		
予算事業名	健康教育費		
総合計画での位置づけ（施策名）	健康管理・意識を高める		
事業の性格	法定事務		
法令根拠等	健康増進法		
事業の対象	全住民		
事業の目的	高齢化が進む中で疾病構造が変化し、糖尿病などの生活習慣病が増加している。健康寿命を延伸することが課題であり、特に生活習慣病の予防への取り組みが重要である。生活習慣病は、日々の生活習慣が発症に大きく関与している。その予防のために町民が自らの健康を意識し、生活習慣の見直しや改善に取り組めるよう支援していくことが本事業の目的である。		
実施期間 開始年度	平成 11 年度から		
実施期間 終了年度	令和 年度まで		
事業の内容	町民の健康増進を目的としたフィットネス事業、疾病予防を目的とした糖尿病予防教室を実施。また、健診事業や久山町研究の成果を町民の健康づくりに還元する目的で、ひさやま健康セミナーを開催している。		

目的達成の指標（成果指標）

健康増進事業参加延べ人数

区分 年度	単位	2 年度	3 年度	4 年度	5年度
目標	人	7,500	7,500	7,500	7,500
実績	人	3,436	3,738		

指標設定の考え方	健康づくり事業の参加により町民が自ら健康管理へ取り組み、健康への意識・関心を高めることができるため。
計画時の懸案事項	コロナ禍において、感染対策を講じながら実施する必要がある。
計画時の懸案事項への対応	感染状況に応じて人数を制限し予約制にするなど、密にならないよう対策を行った。また、室内の換気・共有部分の消毒など基本的感染対策を徹底して実施した。

PLAN（計画）

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額　1,610 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。（千円）

項目		2 年度予算	3 年度予算	4 年度予算	5 年度予算
事務量	① 人工数	0.03	0.37	0.37	0.37
	② 人件費単価	7,652	7,179	7,179	7,179
	③ 補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費（①×②－③）	229	2,656	2,656	2,656
事業費	直接事業費	13,335	12,228	13,552	13,552
	人件費	229	2,656	2,656	2,656
	合計	13,564	14,884	16,208	16,208
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	2972	1450	1707	0
	一般財源	10,592	13,434	14,501	16,208
	合計	13,564	14,884	16,208	16,208

事業費計画

（千円）

区分／年度	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度
目標	13,335	12,228	13,552	13,552	13,776
実績	12,589	12,024			

事業活動の実績（活動指標）

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	2 年度	3 年度	4 年度	5 年度
フィットネス事業実施回数	回	140	140	164	164
		115	104		
ひさやま健康セミナー実施回数	回	1	1	1	1
		1	1		1
糖尿病予防教室実施回数	回	2	2	2	2
		0	1		

DO（実施）

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額　1,588 円

※負担額には国費・県費は含まれていません。（千円）

項目		2 年度決算	3 年度予算	3 年度決算	4 年度予算
事務量	① 人工数	0.03	0.37	0.37	0.37
	② 人件費単価	7,652	7,179	7,179	7,179
	③ 補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費（①×②－③）	229	2,656	2,656	2,656
事業費	直接事業費	12,589	12,228	12,024	13,552
	人件費	229	2,656	2,656	2,656
	合計	12,818	14,884	14,680	16,208
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	0	1450	1115	1707
	一般財源	12,818	13,434	13,565	14,501
	合計	12,818	14,884	14,680	16,208

実施備忘録

CHECK（評価）

No.3

自己評価

評価者	山下　友紀子

5段階評価で評点を付けます。
5　大 ←→ 小　1　↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
□ 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	4	B
□ 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	4	
□ 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	4	
□ 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	4	
2. 町が実施する必要があるか？		
☑ 町が実施主体となることが法令等により定められている。 **※該当する場合は左の□にチェックしてください。**		
□ 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	3	A
□ 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	4	
□ 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	4	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
□ 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	5	B
□ 事業の手法・活動内容は適切である。	4	
□ 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	3	
②効率性		
□ 事業費に見合った成果を上げている。	3	B
□ 外部委託等（指定管理者を含む）による効率化が図られている。	5	
□ 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
③公平性・透明性		
□ 受益者負担について課題はない。（または、受益者負担を求めることが適当でない。）	3	B
□ 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	4	
□ ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	3	

今後の方向性	A・B＝目標達成できたもの C・D＝目標達成できていないもの
□ A重点化（計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る）	
☑ B現状維持（計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める）	
□ C見直し	
□ D廃止	
□ E完了	

C見直しの具体的内容
□ 実施方法の工夫
□ 事業の効率化
□ 受益者負担の適正化
□ 事業縮小
□ その他

4. 自己評価の理由（必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から）

・フィットネス事業は、外部委託をしており事業者側も利用者獲得のためにさまざまな努力をしている。ホームページやLINE等を活用し周知をしたり、継続利用につながるようイベントを実施するなど行っている。
・健康セミナー、糖尿病予防教室については、健診結果等を分析・健康課題を明確にした上で内容を検討している。
町民自身が健康づくりに取り組む意識を向上させるために参加したくなるよう、内容の検討や広報の工夫が必要であると考える。

5. 成果実績の評価（今後の方向性等について具体的に）と課題認識

・フィットネス事業は、働く世代等の利用者の幅を広げるために、R4年度より土曜日を月2回開室する。土曜日の利用者層を把握し効果を検証する必要がある。
・健康セミナー、糖尿病予防教室の利用者はほとんどが70歳代である。生活習慣病等の疾病予防は若いころから健康づくりの意識付けが重要なため、50～60歳代の興味を引くような内容、PR方法を検討していく必要がある。

CHECK（評価）

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

No.4

一次評価

評価者	持松　可奈子

5段階評価で評点を付けます。
5　大 ←→ 小　1　↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
□ 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	4	A
□ 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	4	
□ 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	4	
□ 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	5	
2. 町が実施する必要があるか？		
☑ 町が実施主体となることが法令等により定められている。　※該当する場合は左の□にチェックしてください。		
□ 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4	A
□ 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	4	
□ 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	4	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
□ 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	5	B
□ 事業の手法・活動内容は適切である。	4	
□ 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	3	
②効率性		
□ 事業費に見合った成果を上げている。	4	B
□ 外部委託等（指定管理者を含む）による効率化が図られている。	4	
□ 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
③公平性・透明性		
□ 受益者負担について課題はない。（または、受益者負担を求めることが適当でない。）	4	B
□ 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	4	
□ ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	3	

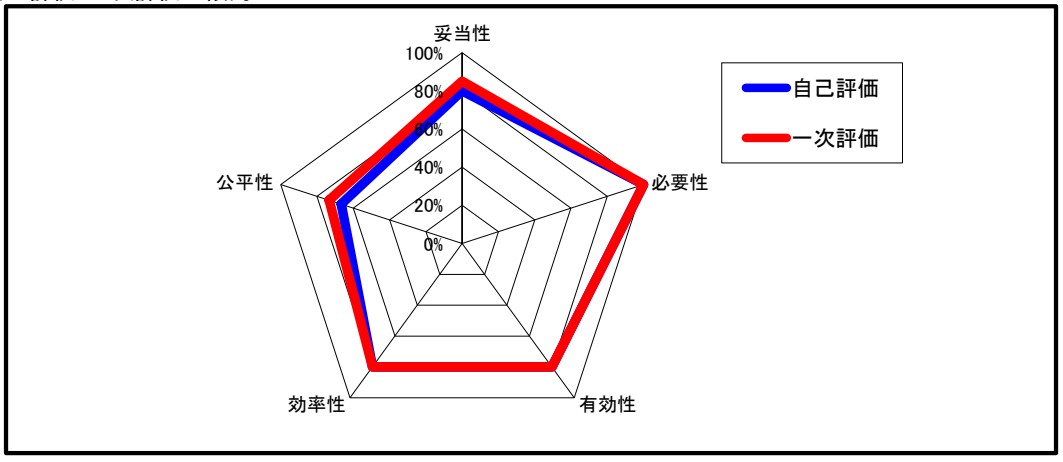
今後の方向性	A・B＝目標達成できたもの C・D＝目標達成できていないもの
□ A重点化（計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る）	
☑ B現状維持（計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める）	
□ C見直し	
□ D廃止	
□ E完了	

C見直しの具体的内容
□ 実施方法の工夫
□ 事業の効率化
□ 受益者負担の適正化
□ 事業縮小
□ その他

一次評価の理由（今後の方向性等について具体的に）

・感染症対策を講じながら、町民が安心して活用できるフィットネス事業および健康増進事業を企画、運営している。
　フィットネス事業は、令和4年度に新規および若い世代の利用拡大を目的として月2回、土曜日開室を試験的に行う。
その他の健康増進事業においても若い頃からの生活習慣病予防の意識づけを図るため、周知や事業内容の検討を行う必要がある。

自己評価・一次評価の傾向



ACTION（評価・改善）

自己評価、一次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

No.5

二次評価

評価者	大嶋　昌広

□ A以下の点について良好と評価し、コストを拡充し更なる事業推進を図る。

☑ B計画どおり、現状のまま事業を継続する。

住民の疾病予防および健康増進を図るために、医師や保健師、管理栄養士等の専門職により事業を推進しており、適正に事業が行われている。また、コロナ禍にあって感染症対策を取りながらフィットネス事業等を継実施している。

□ C事業継続と判断するが、以下の課題を解決するため計画の見直しを行う。

□ D事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

外部評価委員会で評価する。

月　　日
開催予定

□ E事業の目的を達成し、事業完了したと判断する。

□ 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。

一次評価をやり直し、
月　　日
までに提出すること。

□ 評価終了
□ 外部評価へ

ACTION（評価・改善）

自己評価、一次評価、二次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

No.6

外部評価

今後の方向性	A・B＝目標達成できたもの C・D＝目標達成できていないもの
□	A重点化（計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る）
□	B現状維持（計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める）
□	C見直し
□	D廃止
□	E完了

C見直しの具体的内容
□ 実施方法の工夫
□ 事業の効率化
□ 受益者負担の適正化
□ 事業縮小
□ その他

評価		外部評価委員の意見

経営者会議

経営者評価	町長

今後の方向性	A・B＝目標達成できたもの C・D＝目標達成できていないもの
□	A重点化（計画どおり進んでおり、コストを拡充し、更なる事業推進を図る）
□	B現状維持（計画どおり進んでおり、現状のまま事業を進める）
□	C見直し
□	D廃止
□	E完了

C見直しの具体的内容
□ 実施方法の工夫
□ 事業の効率化
□ 受益者負担の適正化
□ 事業縮小
□ その他

評価		経営者会議の結果

令和　5　年度予算要求事項（今後の取り組み）